

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

| 事業所名 | | 公表日 | | | | 利用児童数 | | 回収数 | |
|--------------------------------------|--------|-----------|---------------|-----|-------|--|---|-----|--|
| Wap稲毛 | | 2026年4月1日 | | | | 28名 | | 14名 | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | |
| | | | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 11 | 2 | 1 | | 身体をしっかりと動かしたい場合にはもう少しスペースがあると望ましいと思う。 | 限られた空間の中で、可能な限りできる活動を提案していけるよう努めてまいります。 | | |
| | 2 | 12 | 2 | | | マンツーマンでついて欲しい。 | 1対1での個別支援対応ができるよう人員体制の整備に努めてまいります。 | | |
| | 3 | 13 | 1 | | | 机の角など、遊んでぶつかる危険性に気をつけて欲しいです。 | 安全管理・環境整備に配慮して支援を進めてまいります。 | | |
| | 4 | 13 | 1 | | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | 14 | | | | | | | |
| | 6 | 14 | | | | | | | |
| | 7 | 13 | 1 | | | | | | |
| | 8 | 14 | | | | | | | |
| | 9 | 14 | | | | | | | |
| | 10 | 12 | 2 | | | | | | |
| | 11 | 4 | 1 | 5 | 4 | 個別で対応してもらっているため。 | 個別支援が中心の支援を進めているため、地域交流の機会を設けることは難しい状況mありますが、必要に応じて検討していきます。 | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 14 | | | | | | | |
| | 13 | 14 | | | | | | | |
| | 14 | 13 | 1 | | | | | | |
| | 15 | 13 | 1 | | | 活動中、発語あれば、教えて欲しいです。 子どもの成長をよく見て対応していただいています。 | お子様との具体的なやりとりや発語・会話についても保護者様にお伝えできるよう努めてまいります。2026年4月より支援記録を公開していきますので、ご確認ください。 | | |
| | 16 | 12 | 2 | | | 面談出来てないため、後日時間ある時、行って欲しいです。 いつも子育てについてアドバイスをいただけて助かっています。 | いつでも面談を設けることができますので、お申し出ください。日程調整の上、面談を実施させていただきます。 | | |
| | 17 | 14 | | | | 子どもの成長と一緒に見守ってもらえて、支えてもらっています。 | 職員一同、お子様の成長一緒に支えていけるように努めてまいります。 | | |
| | 18 | 12 | 2 | | | | | | |
| | 19 | 14 | | | | | | | |
| | 20 | 13 | 1 | | | | | | |
| | 21 | 12 | 2 | | | | | | |
| 22 | 14 | | | | | | | | |
| 23 | 13 | 1 | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|----|--|---|---|
| 非常時等の対応 | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 12 | | 2 | 避難訓練、災害時に向けた訓練は年2回実施しております。また災害用伝言ダイヤル171を使用した訓練も実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 14 | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 14 | | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 14 | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 13 | | 1 | 現在通所をしていないため、分からないを選択させていただきました。通える日は朝から楽しみにしています。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 14 | | | |

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

| 事業所名 | Wapi稲毛 | | 公表日 | | 2026年 4月 1日 | |
|---------|--------|--|-----|---------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 2 | 公園に行くなど外活動を取り入れる、空間やスペースをカーテン等で仕切ることで、個別の空間を設けて過ごせるように工夫しています。また、他児と一緒に活動することで空間が活用できるように支援しています。 | 午前は空間的、人間的配置は満たしていますが、午後は利用児も置く、人員体制の整備は課題であるため、支援の時間や空間を調整することで、お子様が安心して過ごせる場所の提供に努めていきます。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | 5 | 本部職員にサポート、支援に入って体制を維持しています。 | 本部職員のサポート体制を整えても、支援に入る人員体制として十分ではない状況もあるため、人員体制の確保に努めていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 2 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 2 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 2 | 個別のスペースは十分ではありませんが、相談室のパーテーションやカーテンの仕切りを利用してクールダウンを図るなど工夫しています。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 5 | 2 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 2 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 2 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | 第三者による外部評価を受けておりませんが、必要に応じて実施を検討していきます。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 2 | | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | 2 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | 2 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | 2 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | 2 | | |
| | 15 | こどもの思いや行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 1 | 行動観察については全職員が丁寧に行なっていると思う。 | 標準化されたツールでの評価は行えていない。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 2 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 1 | 毎回ではないですが、相談しながらどんな支援をしていくか検討しています。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 2 | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|--|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。 | 5 | 2 | お子様によりませんが、同じような遊びが続いてしまうこ とも多々ありました。気持ちに寄り添いながらも、課題 に結びつくような遊びを提案していきたいです。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。 | 6 | 1 | | 支援での様子や共有が必要な事項については、 職員間で確認や連携を密に心がけていきます。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 1 | 必要に応じて全体共有が必要な内容、事項がある場合に は、伝達と共有を行っています。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。 | 7 | | | |
| | 23 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。 | 7 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | お子様に思いに寄り添い、自己決定していけるように働 きかけや提案を行い、自己選択できるよう意識して支援 に当たっております。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。 | 7 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 1 | | 送迎をしていないため、行事など学校と情報共 有が必要な状況がない。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | 1 | | 就学移行支援は、園や学校と事前に面談やおお 電話等で連携を図り、お子さんが安心して通え るように努めています。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。 | 1 | 6 | | 現在、該当利用者がいないため情報提供や連携 を図ることができておりません。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 1 | 6 | 基幹センター及び児童発達支援センターの参加する稲毛 区意見交換会に年3回出席し、地域連携や情報共有の機 会を設けます。 | 他機関との連携を図り、可能な限り、研修等へ 参加できるように努めてまいります。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。 | 1 | 6 | | 事業所に先生方、他機関の方に来ていただく機 会は設けています。交流機会はどのような形が 適宜か検討していけるとよいと考えておりま す。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 5 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | | | |
| 保 護 者 へ | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。 | 7 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を 行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている か。 | 7 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談 や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしてい るか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。 | 7 | | | |

| | | | | | | |
|---------------------------------|--|---|---|---|---|---|
| の 説 明 等 | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 1 | | 定期的な発信は難しい状況ですが、改善できるよう努めてまいります。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 4 | | 事業所に園や学校の先生方、他機関の方に来ていただく機会は設けています。地域住民との交流機会はどのような形が適宜か検討していけるとよいと考えております。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | 虐待防止・身体拘束に関する研修を年2回実施しています。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 1 | | 虐待防止・身体拘束に関する研修を年2回実施しています。契約時に説明同意を得た上で、支援での職員の対応や働きかけが、虐待や身体拘束に該当しないか検証しています。 | |

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

| | | | |
|----------------|--------------|---|--------------|
| ○事業所名 | Wapi稲毛 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 15日 | | 2026年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 名 | (回答者数) 名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 15日 | | 2026年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 名 | (回答者数) 名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 4月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | お子さんが継続的、長期的に通所くださることで、お子さんの育ちを共有しながら、発達段階や特性に応じた柔軟な支援を実施している。子ども一人ひとりの長所や興味関心に寄り添い引き出していく。 | 環境の変化に対して、緊張や不安を抱えるお子様や、適応するまでに時間を要するお子様がいるため、安心して自分らしく過ごせる居場所を提供できるように心がけている。気持ちや情動の調整を行い心身の発散や気持ちを受け止め寄り添っていくことを大切にしている。 | ・お子様の成長に伴い、体が大きくなっていることもあるため、活動が制限されないようお子さんと相談しながら活動を工夫していく。 |
| 2 | 個別・小集団療育のため、お子さんのペースに合わせて活動を選択していくことができる。 | 気持ちや情動の調整を行い心身の発散や気持ちを受け止め寄り添っていくことを大切にしている。 | ・課外活動（外遊び、お出かけ、買い物）など目的や達成した事柄をお子さんと一緒に計画し実行できるよう支援する。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | お子さんの成長に伴い、小学生の高学年には手狭な環境であり、運動活動など身体を動かすには制限がある。 | 施設内環境は限られているため、お子様にも状況を伝え一緒に考えていけるとよいと思う。しかし、身体を動かして心身の発散が必要な場合もあるため、危険性や安全を考慮していくことに課題もある。 | 支援時間やお子様の特性に応じた環境を検討しているが、難しい状況もあるため、可能な限り空間を分けて活動できるように工夫し、職員間で連携を図っている。 |
| 2 | 多機能型のため、小学生児童と乳幼児の異年齢のお子様と同じ環境で過ごす事案がある。 | 多機能型として、放デイ・児発の時間帯を分けて支援することも検討していく必要がある。 | できる限り小学生児童・乳幼児の時間帯を分けて、安全に支援できるよう支援枠の受け入れを調整していく。 |
| 3 | 車を所有していないため、送迎対応が難しい。 | 送迎車、駐車場、送迎人員等を考えると駅前の立地であるため、上記を確保することが難しい状況。 | 送迎に対応していない理由を丁寧に説明させていただきご理解いただく。 |